

2023年8月24日

## 埼玉県和光市における「和光版 MaaS」事業の一環として 自動運転バスの社会実証走行を実施いたします！

東武バス株式会社  
東武バスウエスト株式会社

東武バスグループの東武バスウエスト株式会社（本社：埼玉県さいたま市、社長：金井応季）は、内閣府より未来技術社会実装事業に採択された、埼玉県和光市における「和光版 MaaS」事業において、自動運転サービス導入事業の運行事業者として参画しており、**2023年8月28日（月）から9月8日（金）までの期間（平日のみ）にて、自動運転バスの社会実証走行を実施いたします。**

この取り組みは、和光市内にて開発が進む国道254号および国道298号沿線の産業集積地域への交通手段や、高齢化社会に備え全ての市民の移動の自由を確保するため、先進技術の導入を進め、地域公共交通の充実を推進するとともに、将来の運転士不足の解決等につなげるべく、「和光市駅北口～SGリアルティ和光」線の一部区間において、新たに乗合バス・自動運転バス走行のための専用通行帯が整備され運行するものです。

今回の社会実証走行では、運転士がバス車両の運転席に乗車し、路線の一部区間において、アクセルやハンドル操作等の自動運転機能を作動させる部分運転自動化（レベル2）にて実証を行い、道路状況や走行地域における課題等を検証し、将来的には無人自動運転（レベル4）での走行を目指してまいります。

今回の社会実証走行への参画により、将来の交通課題の解決にも寄与してまいります。概要については、次ページをご覧ください。

※今回の社会実証走行では、市内在住者向けの試乗会へ事前にご応募いただき当選された方や関係者以外のお客様はご乗車できませんので、予めご了承ください。



社会実証走行に使用する自動運転バス車両

【このリリースに関するお問合せ先】

東武バス株式会社 経営企画部（総務担当）岡本・渡邊・金子

☎03-3621-0102

## 「和光版 MaaS」事業における自動運転バス社会実証走行の概要について

- (1) 事業主体 埼玉県和光市 「和光版 MaaS (マース)」自動運転サービス導入事業
- (2) 運行事業所 東武バスウエスト株式会社 新座営業事務所
- (3) 実証路線 「和光市駅北口～SG リアルティ和光」線
- (4) 実証区間 「和光市駅北口」を出発し、乗合バス・自動運転バス専用通行帯が整備された新倉ロータリーから新倉北地域センター付近までの約 800m の区間で自動運転走行を行い、その後「SG リアルティ和光」まで向かった後に折返し、「和光市駅北口」まで戻ります。  
なお、上記の専用通行帯が整備された約 800m の区間以外は、運転士による手動運転で走行します。
- (5) 実証期間 2023 年 8 月 28 日 (月) から 9 月 8 日 (金) の平日のみ (10 日間) 実施
- (6) 実証内容 乗合バス・自動運転バス専用通行帯が整備された区間にて、アクセル・ブレーキ・ハンドルの操作等を自動で行い、道路状況や走行地域における課題等を検証します。  
(運転士が運転席に乗車し、非常時はブレーキやハンドル操作等を行います)
- (7) 使用車両 日野自動車製の「ポンチョ」をベースに、自動運転に必要な機器類を搭載した車両を使用いたします。
- (8) 運行便数 1 日あたり 3 往復
- (9) 注意事項 今回の社会実証走行では、市内在住者向けの試乗会へ事前にご応募いただき当選された方等、関係者に限定した運行を予定しております。当選者や関係者以外のお客様はご乗車できませんので、予めご了承ください。

以 上